

学会誌記事における執筆者の所属、氏名の記載方法

1) 巻頭言	氏名、所属、肩書きをタイトルの下に入れる。 ※別途顔写真と略歴を送付すること。	
2) 時論	氏名、所属、肩書きをタイトルの下に入れる。 ※別途顔写真と略歴を送付すること。	
3) ジャーナリストの視点	氏名、所属、肩書きをタイトルの下に入れる。 ※別途顔写真と略歴を送付すること。	
4)-1 特集	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（5名以内）。 5名を超える場合は代表者1名をタイトルの下に入れる。 記事の末尾（文献の次に）の著者の紹介： ① 5名以内：顔写真、名前、所属、専門・関心分野を入れる。 ② 5名を超える場合：顔写真を省略し、名前、所属、専門・関心分野を入れる。	
4)-2 連載講座、シリーズ解説	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（4名以内）。 4名を超える場合は代表者1名をタイトルの下に入れる。 記事の末尾の著者紹介： ① 4名以内：顔写真、名前、所属、専門・関心分野を入れる。 ② 4名を超える場合：顔写真を省略し名前、所属、専門・関心分野を入れる。	
5)-1 解説、講演、報告	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（3名以内）。 （これらの記事種別の執筆は1名で行われるのが望ましい。分担執筆した場合は代表者が全文を確認、調整を行う。）3名を超える場合は代表者1名をタイトルの下に入れる。 記事の末尾の著者紹介： ① 3名以内：顔写真、名前、所属、専門・関心分野を入れる。 ② 3名を超える場合：顔写真を省略し名前、所属、専門・関心分野を入れる。	
	※部会、連絡会、専門委員会 他、委員会等による執筆の場合 （解説、講演、報告などの3 ～5ページ記事）	部会、連絡会、専門委員会等の名前をタイトルの下に入れる。 記事の最後（参考文献の前）に所属と執筆者名を以下のように記す。 （執筆担当：氏名（所属） 著者紹介および写真は不要。
5)-2 私の研究から	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（1名）。 記事の末尾の著者紹介：顔写真、名前、所属、専門・関心分野を入れる。	
5)-3 私の主張、談話室（投稿）	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（2名以内）。	
6)-1 会議報告、機関訪問、研究室 紹介、部会便り、支部便り、 海外便り	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（2名以内）。	
6)-2 理事からのメッセージ、書評、 新刊紹介、	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（1名）。	
6)-3 意見交換の広場、一言メモ （投稿）	所属、執筆者名をタイトルの下に入れる（1名）。	

(註)

* これ以外の記事は類似のものと同じに扱う。

* 所属は現在の所属先とし、職位、肩書きは入れない。文中に掲載された著者以外の方についても原子力学会関係者の場合は同様に扱う。また、退職後の執筆者は元の所属機関から代表的なものを一つ記入する(元〇〇〇)。

* 著者紹介は「略歴」ではなく、「名前」「所属」「専門分野・関心分野」のみを50字以内で記入する。

* 特集、連載講座、シリーズ解説、解説、講演、報告における著者紹介顔写真は、刷り上り記事スペースとの関係で、掲載数を調整することがある。

(改定 2008年6月6日)

(改定 2009年2月6日)

(改定 2009年9月25日)

(改定 2012年6月1日)

※文書番号のみ変更